

第53回苫小牧市地域協議会

次 第

日 時：令和5年2月13日(月)18時30分～

場 所：苫小牧市東開文化交流サロン

1 開 会

2 あいさつ

北海道総合政策部交通企画監 宇野 稔弘

苫小牧市副市長 木村 淳

3 議 題

- (1) 住宅防音対策の進捗状況等について
- (2) 植苗地区道営住宅整備（第四期）について
- (3) 地域振興対策事業助成金について
- (4) その他

4 閉 会

<配付資料>

- 資料1 住宅防音対策の進捗状況等
- 資料2 植苗地区道営住宅整備（第四期）の概要
- 資料3 地域振興対策事業助成金
- 資料4-1 新千歳空港の運営に関する状況
(7空港一体協議会及び新千歳空港の運営に関する協議会について)
- 資料4-2 滑走路等に使用する融雪剤の成分について

住宅防音対策の進捗状況等

1 令和4年度の実績（執行見込み）について（高齢者優先枠含む）

(件、世帯)

区分	R 4 計画数	R 4 実績 (①)	R 4 実績		翌年繰越 (②)	計 (①+②)
			うちR 3 繰越			
千歳市	一般住宅	139	101	33	28	129
	世帯数	143	104	33	28	132
	集合住宅	17	15	5	2	17
	世帯数	130	120	29	10	130
	計	156	116	38	30	146
	世帯数	273	224	62	38	262
苫小牧市	一般住宅	16	14	1	2	16
	世帯数	16	14	1	2	16
	集合住宅	0	0	0	0	0
	世帯数	0	0	0	0	0
	計	16	14	1	2	16
	世帯数	16	14	1	2	16
合計	一般住宅	155	115	34	30	145
	世帯数	159	118	34	30	148
	集合住宅	17	15	5	2	17
	世帯数	130	120	29	10	130
	計	172	130	39	32	162
	世帯数	289	238	63	40	278

2 高齢者優先枠の実績及び今後の計画について（苫小牧市）

（件、世帯）

区分	工事实績			計画数		計
	R2	R3	R4	R5	R6	
一般住宅	1	6	4	3	0	14
世帯数	1	6	4	3	0	14
集合住宅	0	0	0	0	0	0
世帯数	0	0	0	0	0	0
計	1	6	4	3	0	14
世帯数	1	6	4	3	0	14

3 令和5年度実施計画について

（件、世帯）

区分		R 5 予算分	R 4 繰越分	高齢者優先	計
千歳市	一般住宅	58	28	19	105
	世帯数	58	28	24	110
	集合住宅	12	2	0	14
	世帯数	97	10	0	107
	計	70	30	19	119
	世帯数	155	38	24	217
苫小牧市	一般住宅	6	2	3	11
	世帯数	6	2	3	11
	集合住宅	0	0	0	0
	世帯数	0	0	0	0
	計	6	2	3	11
	世帯数	6	2	3	11
合計	一般住宅	64	30	22	116
	世帯数	64	30	27	121
	集合住宅	12	2	0	14
	世帯数	97	10	0	107
	計	76	32	22	130
	世帯数	161	40	27	228

植苗地区道営住宅整備(第四期)の概要

1 整備場所

植苗地区の星ヶ丘団地内に整備

2 整備戸数等

区 分	3 L D K	2 L D K	合 計
変 更 前	1	5	6
変 更 後	2	4	6

- ・ 第一期～第四期全体では29戸を整備

3 整備スケジュール(予定)

年月	内容
令和5年3月	工事公告
令和5年4月～	入札、契約、造成・本体工事
令和6年2月	完成
令和6年3月	入居

4 住宅計画(案)

- ・ 整備する住戸の一部(3LDK・2戸)を、特定目的住宅(小学生以下同居世帯向け)として指定する方向で調整する。
- ・ 入居者募集については、地域と相談のうえ、本体工事期間中に実施する。

地域振興対策事業助成金

1 基金の現状

- 平成6年に新千歳空港の24時間運用について、地域住民との合意に基づき総額30億円の基金を造成し、その運用益により地域の町内会活動等への支援に充当。
- 現在までの基金総額（19億5,970万円）に係る運用益及び未造成分の基金に対する見合補助により、地域に対して助成金として財団より交付。

2 交付先

- 8町内会（町内会活動事業及び生活環境整備事業）

3 基金運用益の交付の考え方

- 基金運用益は、翌年度助成事業として交付。
- 運用益の一部を財団人件費（公益法人化に伴う措置）に充当〔H23～〕。
- 配分割合は、町内会活動事業に1／3、生活環境整備等に2／3の割合で、苫小牧市及び千歳市に交付。

区 分	事業による交付割合	地域による交付割合
町内会活動事業	助成金総額の1／3	苫小牧市分 50%
生活環境整備事業	助成金総額の2／3	苫小牧市分 48%

4 今後の課題

- 令和5年度以降、運用中の基金が順次満期を迎え、満期後は他の債券を購入し運用予定であるが、現在運用中の金利と比較して、低率の見込み。そのため、基金運用益が減少し、地域への助成額も減額となる見込み。

5 助成額の今後の推移（試算）

試算条件	①運用中の基金総額は変更しない ②満期後、速やかに「国債」を購入 〔購入条件：期間 20年満期、金利 0.701%（R4.4.1現在）〕
試算結果	○令和4年度交付額と比較 8年度：約2割減、11年度：約3割減、 17年度：1／2以下に減

7空港一体協議会及び 新千歳空港の運営に関する協議会について

■7空港一体協議会

構成員	北海道、千歳市、苫小牧市、稚内市、釧路市、白糠町、函館市、旭川市、東神楽町、帯広市、大空町、国土交通省航空局、北海道運輸局、北海道経済連合会、北海道商工会連合会、北海道観光振興機構、北海道経済同友会、北海道エアポート(株)
開催周期	事業年度につき1回以上

【2022年度開催状況】

日時：2022年5月10日（火）

議題：北海道エアポート(株)各種報告（運営状況、2021年度空港別協議会開催状況）ほか

報告内容として、北海道エアポート(株)旅客数推移と新型コロナウイルス感染症流行による影響、令和3年度活性化投資として釧路空港駐車場改良工事、帯広空港臨時駐車場拡張工事、新千歳空港ハイドラント設備の拡張工事について進捗を報告、令和4年度の活性化投資及び更新投資予定に関する説明を実施した。また、新規路線誘致に向けた取組や新千歳空港で実施した産地直送物産展の取組等に関して報告を行った。

■新千歳空港の運営に関する協議会

構成員	千歳市、苫小牧市、北海道、東京航空局新千歳空港事務所、北海道運輸局、千歳商工会議所、苫小牧商工会議所、千歳観光連盟、苫小牧観光協会、北海道エアポート(株)新千歳空港事業所
開催周期	事業年度につき2回開催

【2022年度開催状況】

日時：2022年5月26日（木）

議題：① 新千歳空港2021年度の利用状況
② 北海道エアポート株式会社 2022年度事業計画
③ 構成員の2022年度の取組みなどについて意見交換

日時：2022年11月14日（月）

議題：① 新千歳空港2022年度の利用状況
② 新千歳空港の利用促進に向けての取組み報告
③ 新千歳空港国際線の動向について意見交換

2022年度の協議会では、コロナ禍で減少した空港利用に関して、HAPと各自治体の利用促進に関わる取組みを報告し、進捗状況を確認した。

苫小牧市からはとまとま割（宿泊助成）や各種イベントの開催などによる来道者促進の取組みについて報告がされた。また、2022年は苫小牧市の魅力をHAPに対してPRいただき、航空需要が回復した時の苫小牧市の魅力をどのように伝えるかの意見交換会を行った。

メーカー：CLARIANT（スイス本社：環境立国ドイツに拠点）

航空機と滑走路の凍結防止の製品において40年以上の歴史を持つリーディングカンパニー

① Safeway KF（液体融雪剤）※無色無臭

蟻酸カリウム50%、水49%、腐食防止剤約1%未満（国際規格：AMS1435）

特徴：高生分解性、低生態圏影響、空港周辺生態系保護要件に対応

塩化物、硝酸塩、亜硝酸塩、トリアゾール等の有害物質は含まれない。

② Safeway SF（固体融雪剤）※白色粒状

蟻酸ナトリウム98%、腐食防止剤約2%（国際規格：AMS1431）

特徴：高生分解性、低生態圏影響、空港周辺生態系保護要件に対応

塩化物、硝酸塩、亜硝酸塩、トリアゾール等の有害物質は含まれない。